

研究課題名	硬膜下電極留置による頭蓋内脳波検査(SDE)と定位的頭蓋内脳波検査(SEEG)の合併症および発作転帰に関する比較
研究期間	2026年6月15日～2028年12月31日
研究の対象	難治性てんかんに対し、2008年10月1日から2027年12月31日までに広島大学病院にて硬膜下電極による頭蓋内脳波検査(SDE)あるいは定位的頭蓋内脳波検査(SEEG)を受けた小児および成人の方
研究の目的・方法	研究目的：SDEとSEEGの間で、これらの合併症と皮質焦点切除術が行われた場合は発作消失率について比較することです。 研究の方法：研究対象者の診療録（カルテ）内にあるデータを使用します。SDEおよびSEEGを行った際の合併症を抽出し、合併症率や合併症の種類をSDE群とSEEG群間で比較します。また、SDEやSEEGの後に皮質焦点切除術が行われた場合は発作消失率をSDE群とSEEG群間で比較します。
研究に用いる試料・情報の種類	情報：手術時年齢、性別、てんかん罹病期間、てんかんの病因、術前神経心理テスト所見、術前ADLの状態、術前頭部MRI所見、脳磁図所見、FDG-PET所見、SPECT所見、術前ビデオ脳波モニタリング所見、頭蓋内ビデオ脳波モニタリング所見、電極留置時手術所見、電極留置により生じた出血性合併症およびその他合併症、合併症に対して手術が行われた場合はその所見、頭蓋内脳波検査に引き続いて焦点切除術が行われた場合はその所見、焦点切除術後の発作転帰および神経心理テスト所見 情報の管理責任者：広島大学大学院医系科学研究科脳神経外科学 教授 堀江信貴
利用または提供を開始する予定日	2026年6月15日（実施許可日以降）
個人情報の保護	得られた情報から氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し、代わりに新しく研究用の番号を付けて取り扱います。
外部への試料・情報の提供	ありません。
研究組織	本学の研究責任者 広島大学大学院医系科学研究科脳神経外科学 教授 堀江信貴
その他	ありません。
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象といたしませんので下記の連絡先までお申し出ください。お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報に基づく

データを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお、公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。

また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。

広島大学病院 脳神経外科

担当者：香川 幸太

〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3

電話番号：082-257-5227